

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

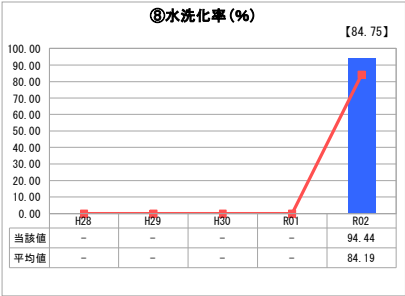
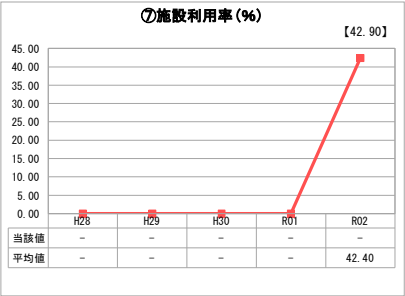
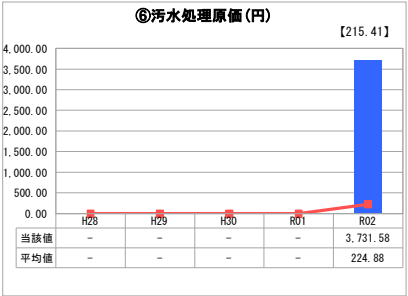
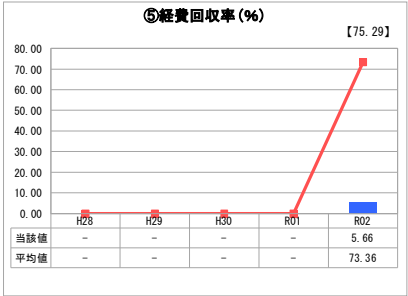
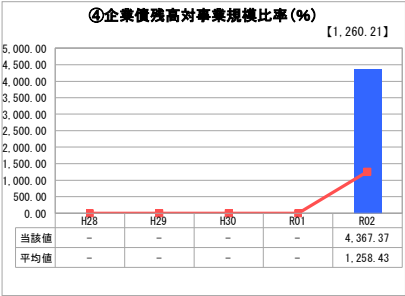
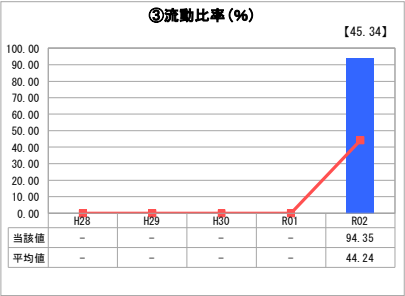
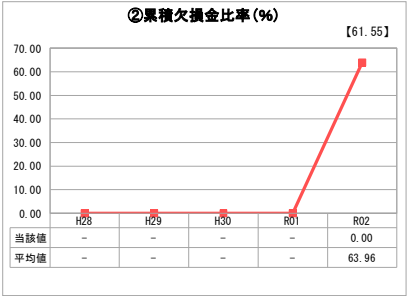
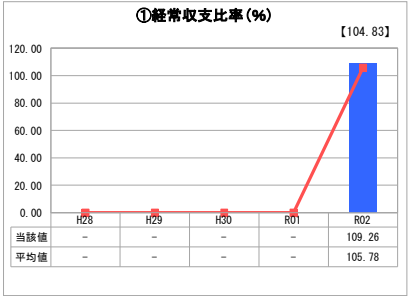
秋田県

| 業務名       | 業種名         | 事業名         | 類似団体区分 | 管理者の情報                         |
|-----------|-------------|-------------|--------|--------------------------------|
| 法適用       | 下水道事業       | 特定環境保全公共下水道 | D2     | 非設置                            |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%)      | 有収率(%) | 1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円) |
| -         | 80.20       | 1.85        | 52.19  | 2,200                          |

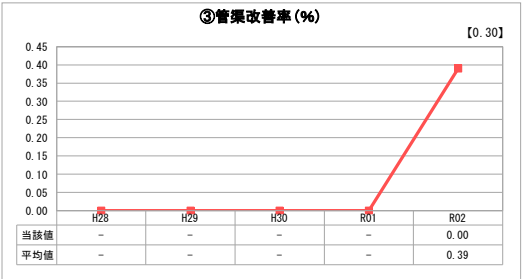
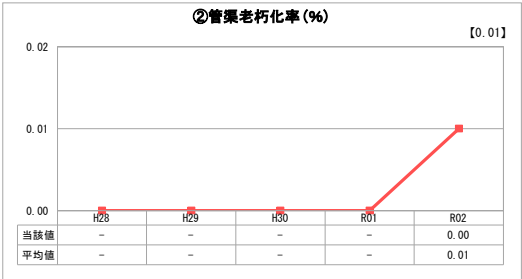
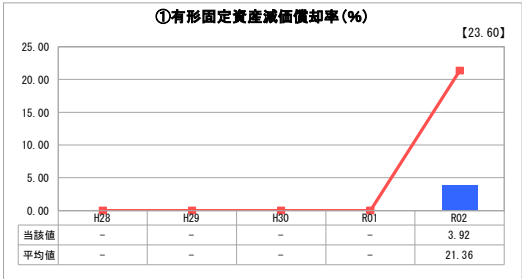
| 人口(人)      | 面積(km <sup>2</sup> )     | 人口密度(人/km <sup>2</sup> )      |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 971,604    | 11,637.52                | 83.49                         |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km <sup>2</sup> ) | 処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> ) |
| 90         | 0.54                     | 166.67                        |

| グラフ凡例          |
|----------------|
| ■ 当該団体値（当該値）   |
| — 類似団体平均値（平均値） |
| 【】 令和2年度全国平均   |

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は100%を超えており、累積欠損金もないことから、現時点での経営は安定しているものと評価します。

経費回収率、汚水処理原価とも類似団体と比較すると大きく乖離していますが、本事業は十和田湖の水質保全を目的として青森県と共同で実施しているものであり、単純比較はできないものと考えます。

### 2. 老朽化の状況について

破損が増加する目安とされる整備後30年を経過する管渠が、今後10年間で7割以上となることから、今後はストックマネジメント計画により投資の最適化を図っていきます。

## 全体総括

現状では、経営状況は健全であると判断されます。

県内有数の観光地である十和田湖の水質保全のため、本事業を継続していく必要があることから、経営戦略やストックマネジメント計画により計画的な経営に取り組んでいきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。